

7月15日(水)

「雷別ドングリ倶楽部」の活動

7月15日(水)、会員10名が参加して今年度2回目の「雷別ドングリ倶楽部」の活動が行われました。今回は、5月20日に播種して芽を出したミズナラとキハダの幼苗をキャビティコンテナへ移植しました。当初は雷別国有林での下草刈りなどを予定していましたが雨のため現地国有林での作業は中止し、室内でも行うことができる幼苗の移植作業を実施しました。



大きな葉を付けたミズナラ幼苗



キハダ稚苗



キャビティコンテナに移植したミズナラ

移植作業は5名ずつ2班に分かれ実施。初めに椰子殻・もみ殻・薫炭・バーク堆肥を混ぜ合わせ、キャビティコンテナで使用する土を作りました。次に成長が良く大きな葉をつけたミズナラ85本と、ようやく1~2cmに成長したキハダ125本をキャビティコンテナに移植しました。

移植作業終了後は、根釧西部森林管理署会議室で、森林管理局・森林管理署の業務内容についてセンター所長から説明を行いました。また、今後の「雷別ドングリ倶楽部」の活動について意見交換を行うなど、意義のある活動でした。

(自然再生指導官 朝倉)



キャビティコンテナ用の土作り作業



キャビティコンテナへの移植作業